

# 青木繁「海の幸」記念館 友の会だより 第11号 平成29年6月20日

発行：青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

会長：嶋田博信 副会長：小谷昭・武田愛雄 館長：小谷福哲(小谷家当主)

事務局長：愛沢伸雄 (事務局：NPO法人安房文化遺産フォーラム)

〒294-0036 千葉県館山市館山1016-1 TEL&FAX:0470-22-8271

メール awabunka@awa.or.jp 公式サイト <http://aoki-shigeru.awa.jp/>

入館料：一般200円・小中高100円・友の会無料 開館日：土日(事前の団体予約は平日可)

\*\* 友の会会員募集中！年会費2,000円 郵便振替口座00150-6-616201 青木繁「海の幸」記念館 \*\*

青木繁「海の幸」記念館は、毎週土日の一般公開に加え平日の団体予約で、オープン1年間の開館日数は130日、入館者は3,178名を迎えました。内訳は一般2,417名・小中高512名・友の会149名です。スケッチツアーをはじめ、戦争遺跡の平和学習や『南総里見八犬伝』と里見氏城跡など、さまざまな自然・文化遺産と組み合わせた「館山まるごと博物館」のスタディツアーが好評で、韓国からのまちづくり視察を含み、36団体・1,289名のスタディツアーが来訪しました。また、オープン1周年のGWは9日間で741名が入館されました。

記念館の運営においては、受付・清掃・環境整備などご奉仕して下さっている友の会スタッフの皆様には、改めて感謝申し上げます。さらに、お手伝い頂けるスタッフを募集しています。どうぞよろしくお願いいたします。

## \*お知らせ\*

◇ 布良崎神社 祭礼 7月22日(土) 10:00 祭典 16:00 神輿渡御 日没時 御浜くんだり神事

◇ NHKEテレ「日曜美術館」<魂こがして 青木繁 ~ 海を渡った「海の幸」と石橋凌の対話>

7月23日(日) 9:00/(再放送)30日(日)20:00

「海の幸」は、今年はじめて海をわたり、パリで展覧会が開かれ、注目を集めています。明治期の布良崎神社祭礼の神輿がイメージソースになって、「海の幸」が誕生したと考えられています。

NHK「日曜美術館」では、青木繁と同じ福岡県久留米市出身の俳優・石橋凌さんが「海の幸」誕生の足跡をたずねました。写真は、「海の幸」のモデルを再現し、阿由戸の浜を歩く石橋さん。

◇ 鑑賞会「日曜美術館」  
7月30日(日)10:00  
布良崎神社集会所



## \*青木繁「海の幸」記念館の催し\*

◇ 陶器の風鈴市 7月22~23日(土日)

◇ 3つの「あ」の寺子屋講座 (茶話会)

3つの「あ」は、青木繁・安房節・アジの開きの頭文字をとって、旧富崎小学校で実践していた伝統学習。友の会メンバーが語り手や講師になって、お互いに学び合い、楽しみましょう。(資料・お茶菓子代200円)

7月13日(木) 13:30 「青木繁の誕生日を祝う」 船田正廣&溝口七生 (彫刻家・画家)

8月24日(木) 13:30 「青木繁も潜った布良の海」 成田均&青木優 (ダイバー・漁師)

9月14日(木) 13:30 「貝殻アクセサリーを作ろう」 岩田明彦 (貝殻細工制作)

10月17日(木) 13:30 「複製画の制作から青木繁作品を語る」 島田吉廣 (印刷技術者)

11月9日(木) 13:30 「青木繁が描いた布良と日露戦争」 愛沢伸雄 (保存会事務局長)

◇ 千葉県立東葛飾高校美術部展「館山・布良を描く」 9月30日(土)~10月29日(日)

毎年来訪している東葛飾高校リベラルアーツ講座では、美術部の生徒さんがスケッチしながら、青木繁「海の幸」記念館・布良崎神社・戦争遺跡・ハンゲル「四面石塔」などをめぐっています。今年も10月2・3日(月火)に来訪します。歴代の部員が描きためた作品から数点をお借りし、展示紹介します。

◇ 菊花を愛でる会 11月3~5日(金土日)

丹精込めて育てられた菊の花を愛でながら、希望者には小谷家庭園でお抹茶を一服(300円)。



**\*レポート\***

**\* 青木繁「海の幸」複製画を館山市立房南小学校へ寄贈  
「わだつみのいろこの宮」を久留米市立荘島小学校へ寄贈**

統廃合により今春開校した館山市立房南小学校に、青木繁「海の幸」の同寸大複製画が寄贈されました。制作者の島田吉廣さん(当会役員・アートプロセス社の代表取締役)は、厚生労働大臣認定スキャナー1級技能士という印刷技術のスペシャリスト。できるだけ原画に近い色彩を再現し、複製画を4年前に制作しました。

島田さんが同時に制作した「わだつみのいろこの宮」は、昨秋、青木繁旧居保存会(荒木康博会長)を通じて、青木繁の母校・福岡県久留米市立荘島小学校へ寄贈されました。旧富崎小学校と荘島小学校は、かつて青木繁をめぐる交流をしていたこともあります。「これを機に、代表作のレプリカをもつ両校が、再び交流を再開し、友情を温めてほしい」と島田さん(写真中央)は願っています。



**\* ブロンズ「刻画・海の幸」  
韓国 光州市&霊岩郡の美術館にて除幕！**

船田正廣氏(館山在住・東京芸術大学卒)制作、河正雄氏(秀林文化財団理事長)の寄贈により、5体鑄造された同寸大のブロンズ「刻画・海の幸」は、館山・久留米・韓国ソウルに続き、韓国内2か所で除幕され、すべてが設置公開されました。



在日二世として生まれた河氏は、同じ在日で苦勞した画家の秀作を収集し、日韓両国の美術館に数万点を寄贈し、美術による日韓親善友好を促進している個人メセナです。光州市と霊岩郡では、河氏の名を冠した公立美術館が開館しています。



**\* 平成 28 年度会計報告**

【一般会計】				【特別会計】	
<b>I 収入の部</b>		<b>II 支出の部</b>		<b>I 収入の部</b>	
・友の会 会費	768,000	<b>運営事業費</b>		・前年度積立金累計	22,091
・維持協力金(入館料)	532,400	・スタッフ経費	349,500	・受取利息	7
・寄付金	499,996	・企画行事	75,963	・一般会計からの繰入金	400,000
・その他収入	235,050	・環境整備	80,977	<b>収入合計</b>	<b>422,098</b>
・受取利息	4	・室内整備	168,217		
・前期繰越金	185,211	・予備費	72,032	<b>II 支出の部</b>	
<b>収入合計</b>	<b>2,220,661</b>	<b>管理費</b>		・修復費	0
		・記念館管理費	179,454	・小谷家納税負担金	250,000
		・事務局費	100,000	<b>支出合計</b>	<b>250,000</b>
		・ホームページ管理費	13,000		
		・火災保険	100,090	<b>III 特別会計残高</b>	<b>172,098</b>
		・旅費交通費	94,800		
		・印刷費	81,785		
		・消耗品費	83,368		
		・通信郵送費	115,354		
		・渉外会議費	46,897		
		・特別会計への繰入金	400,000		
		<b>支出合計</b>	<b>1,961,437</b>		
		<b>III 次年度繰越金</b>	<b>259,224</b>		

\* 館山市ふるさと納税に昨年度 36 件 840,000 円のご支援がありました。引き続き「小谷家住宅の保存及び活用の支援に関する事業」を指定し、ご協力いただきますようお願いいたします。

\* 友の会(年会費2,000円)の入会も広くお声がけのほどよろしくお願いいたします。

\* イオン館山店では毎月 11 日、買物時に出る黄色いレシートを、店内の【青木繁「海の幸」記念館】BOX に入れると、年間合計額の 1%が活動支援金となります。昨年度は 11,900 円が贈られました。ありがとうございました。

\* ご協力ありがとうございました。 29 年度会費の未納の方は、ご入金をお願いいたします。郵便振替口座 00150-6-616201 青木繁「海の幸」記念館